

課題・テーマ

新課程で学んだ生徒たちの実態をふまえた指導のもと発信力を高めるための、異校種と連携し系統性をふまえた指導計画の作成と授業開発

具体的な取組と工夫

■連携校(古川第五小学校と古川南中学校)の授業参観・意見交換を通して、現状を把握

- ・授業参観を通して、実際に生徒たちが触れている英語の表現や先生方の指導法について学び、共有した。

■Speaking-first, Writing secondの流れを継続

- ・母語の使用と同じ流れを意識し、Think and Expressの流れで発信するよう指導した。

■定期考査において教科書の本文は出題せず、初見文のみで出題

■ICTの更なる活用

- ・class pad やpadletを使用。簡単にフィードバックが可能。英作文の指導のためにchatGPTやginger、DeepLなどの使い方も学んだ。
- ・様々なアプリで動画を作成したり発表したり、グループで同時に書き込んだりするなど協働的な学びの場面を多く持った。

■研修会を開催し、小学校・中学校・高等学校の先生方と情報交換を実施

- ・10月23日(月)に文教大学 国際学部 阿野教授(New Horizon著者)をお招きし、公開授業の指導助言をいただいた。今年で4年目。また、“小学校・中学校の英語の学びを高等学校でつなげるために”という演題でご講演いただき、小中高の教員を交えたワークショップを行った。

■古川第五小学校の5年生と古川高校1年生が合同英語授業を実施(志教育との連携)

- ・古高生希望者54名が古川五小に訪問し、「My Hero」を伝え合う活動を一緒に行った。交流会も実施し、将来の夢などを語り合った。

成果

■Speaking 力の向上を実感

4skills の中でどの力が4月と比べて伸びたと思うか(アンケートより)

1 speaking 34% 2 Reading 34% 3 writing 28% 4 Listening 3%

■初見問題使用による効果・自立学習スタイルの模索

教科書や課題だけの勉強から脱却。自主学習の仕方を本気で考え始めた。

■ICT力up(教師も生徒も)

生徒:アプリを使いこなし自主学習。副教材購入の削減・学び合いに効果大
教師:教師同士のデータ共有・生徒の課題確認効率大・英作文指導効率up

■小中高の現状を共有

異校種の指導方法や評価、カリキュラムについて学んだ。

課題及び改善案

■自立学習スタイルの更なる促進

個別最適化を意識し、個の能力に対応した授業スタイルとその指導法の研鑽

■連携事業の活性化

小中学校との連携を幅広く実施。生徒同士の関わりを増やす。

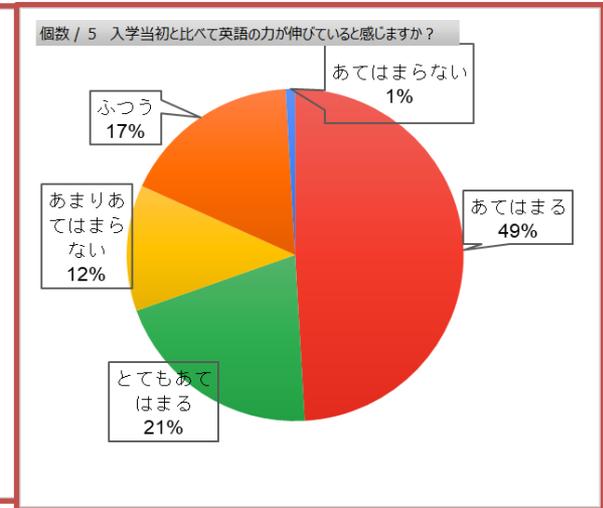
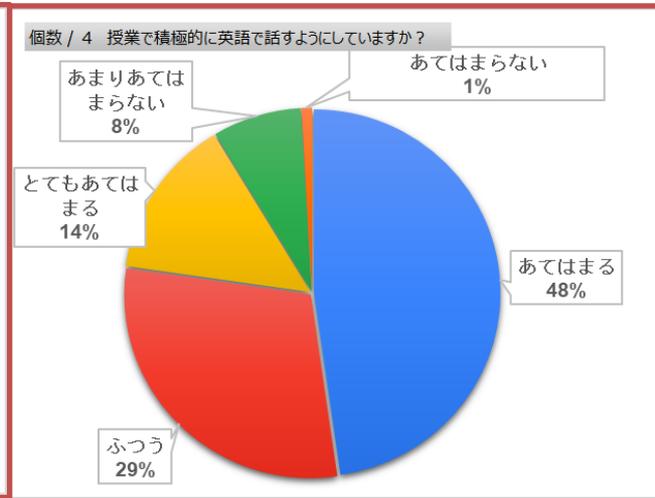
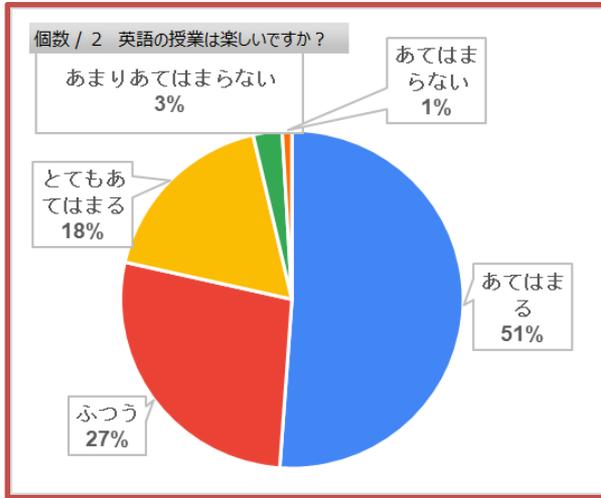
■評価に関する研究

評価方法を一緒に作成する

■資格試験の研究・斡旋

各種試験の説明会を実施

アンケート結果抜粋



生徒のコメントから

- その場で考えて話せるようになった。
- 様々な表現を身につけたので英会話しやすくなった。
- スピーキングテストを通じて、スピーキングするときの工夫ができるようになった。
- 英語の時間に積極的に英語を使って話すようになって、知らない単語があっても自分が知っている単語の中で文を組み立てて話せるようになった。
- 即興で自分が知ってる単語や文法で話せるようになった。
- 間違ふことに抵抗感をあまり持たずに、英語で話せるようになりました。キーワードから話すことを膨らませられるようになりました。
- 暗記でプレゼンではなくその場で考えてプレゼンしたりできるようになった。
- 今までは会話の途中で途中で思考停止して「自分が喋っている英語は合っているのか」と不安に苛まれることがあったけど、会話の練習を日々やったおかげで、相手の話についていけるようになり、会話で置き去りにされることがなくなりました。
- 入学当初よりも、書ける単語が増えてスペルミスも減った。
- 入学当初は、ライティングがとても苦手で、テストに出ても1文で終わらせたり簡単な文法で書いたりして、伝わりにくい英作文だったけれど、何度も書いていくうちに、様々な表現を使って読み手が読みやすい英作文を書けるようになった。

公開授業及び研修会

令和5年10月23日(月)

公開授業 英語コミュニケーション I

Lesson6 You and Your Smartphone

-Who's in Charge?

教諭 阿部理恵

研修会 テーマ「小学校・中学校の英語の学びを
高等学校でつなげるために」

文教大学国際学部国際理解学科

阿野 幸一教授

参加された先生からのコメント

○授業を参観させて頂きましてありがとうございました。小・中学校の連携についてはこれまでも学ぶ機会がありましたが、高校の授業を見せて頂いたり、意見交換することが今までありませんでしたので、とても勉強になりました。阿野先生の講義、そして研修の中で、小・中・高が学びの連続の中で段階的にレベルアップし、連携していることをより意識することが出来ました。「文法をどのように教えるのか」を工夫しながら、普段の授業づくりにかかしていきたいと思えます。

○私は中学校籍ですが、中高連携という点でもとても勉強になりました。小中高の外国語科のつながりを意識しながら授業づくりをしていきたいと思いました。目的・場面・状況の設定を行っていききたい。

○今年で3年連続3回目の参加となりましたが、毎回毎回新しい発見ができ、今回はその翌週にはNew Horizon 小5～中3まですべて購入をしてしまうくらい、影響を受けております。

特にここ数年の「なんか新入生の英語に取り組む態度が違うぞ(良くなっている)」というのは肌感覚ではありましたが、具体的に小中のカリキュラムや教科書を確認したことはなかったため、確認をするよい機会になりました。

古川第五小学校と小高連携授業

令和6年1月31日(水)

Unit8 Who is your hero?

教諭 小野寺拓

○5年生3～4人 古高1年生3～4人で1グループを作り、それぞれMy heroを発表し合う

○4クラスに高校生が12～13人ずつ入り、夢を語り合ったり、質問し合ったりする。(日本語で)

参加した古高生からのコメント

○小学生の英語の発音がしっかりできていたことにびっくりした。自分の時は発音に自信がなくて小さい声でしか話せなかったの、ハキハキと、アイコンタクトもしながら話せていてすごいと思った。

○コミュニケーションを楽しく行う工夫を学べました。また、コミュニケーションは伝えようとする気持ちが大切だと改めて気づけました。

○自分の小学生の時よりも高いレベルの英語の授業をしていると思った。会話から英語を勉強していることが分かった。

○英語の先生になるにあたってどうすれば子供達に自信を持って英語を話してもらえるかを考えるのが難しかった

○2時間連続で説明する先生の授業の回し方や緊張する子供たちの支え方がとても勉強になったと思った。

○自分から何かを発信して、誰かに気持ちを伝えることへの大切さを小学生と話して、小学生同士が話しているのを見て改めて思った